

第11回

包装材料セミナー

—プラスチック添加剤の最新技術動向について—

日時：平成28年1月29日(金)

会場：ソラシティカンファレンスセンター Room C

主催：公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の
お勧め
：

近年包装材料には、多様化する消費者ニーズから、高機能化・高付加価値化・コスト競争力が求められ、単に内容物の保護だけでなく、加工性から使い勝手、廃棄性等総合的な性能が必要とされています。こうした状況に対応すべく、当会では、日々進化する包装材料の最新動向と今後の展開、業界情報等をご紹介します「包装材料セミナー」を開催しております。第11回目の今回は、プラスチック添加剤の話題を中心に、基礎からマスターバッチの加工事例、抗菌剤事例、分析技術の最新動向をご紹介します。どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

プログラム

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:00	<p>◆『プラスチック添加剤の基礎及び容器のプラスチック化に対するBASFからのご提案』</p> <p>1. プラスチック添加剤の基礎 ・ 何故プラスチック添加剤が必要とされるのか。 ・ 熱安定剤・加工安定剤の働くメカニズム ・ 耐候安定剤の働くメカニズム</p> <p>2. 容器のプラスチック化が進む中でBASFからのご提案 ・ 臭いもなく少量で効果を出すPP用透明核剤 ・ 内容物の香りや色を保護する紫外線吸収剤 ・ 可視光領域でも影響を受ける内容物を保護する着色剤</p>	<p>BASFジャパン株式会社 高性能製品統括本部 プラスチック添加剤ダウンストリーム セールス</p> <p>香川 正 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>㈱ロッテ マーケティング統括部 パッケージ・デザイン企画部 パッケージ企画室 小垣 美津子 氏</p> <p>アサヒ飲料(株) 技術研究所 生産技術グループ グループリーダー 長谷川 和夫 氏</p>
11:10 ▼ 12:10	<p>◆『プラスチック用マスターバッチの加工事例』</p> <p>プラスチックに使用される添加剤(耐候・耐熱安定剤、アンチブロッキング剤、滑剤、帯電防止剤等)は一般に粉粒体や液体状のものが多く、フィルムや容器の成型時に直接添加しようとする、添加剤の飛散による環境悪化や分散不良による品質のバラツキなどの恐れがある。添加剤を樹脂中に高濃度に充填したベレット(マスターバッチ)を使用することで、前述の課題を改善できる。本講演では、添加剤マスターバッチへの理解を深めていただくことを目的に、以下の内容で、その加工事例などについて紹介する。</p> <p>(1) マスターバッチの必要性・設計事例 (2) マスターバッチに使用する添加剤の紹介 (3) 添加剤マスターバッチの加工事例 (4) マスターバッチの評価及び分析</p>	<p>住化カラー株式会社 開発本部 開発研究所 機能材グループマネージャー</p> <p>堀井 建吾 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>東洋製罐(株) テクニカル本部 プラスチック技術部 加工技術グループ 主任部員 山口 裕司 氏</p> <p>ユニチカ(株) フィルムカスタマーソリューション部 開発1グループ 鶴崎 義之 氏</p>
12:10▶13:00	◆昼食休憩・講師への質問用紙回収	
13:00▶13:30	◆講師への質問会	講師+コーディネーター
13:40 ▼ 14:40	<p>◆『抗菌剤(防カビ剤)とその利用』</p> <p>抗菌加工は日本で開発された技術であり、現在は抗菌加工製品の市場も徐々に成長し一兆円を超えている。さらにアジア諸国、欧米にも広がつつある。しかし、抗菌の正しい意味については必ずしも理解されていないため、まずこれについて解説する。</p> <p>抗菌加工に利用される薬剤である抗菌剤について、種類、特徴、作用メカニズム、安全性、選び方等について説明し、さらに抗菌加工製品の作り方、評価方法、品質管理方法、抗菌性と安全性に関する基準について紹介する。</p> <p>併せて防カビ剤の種類と特徴、防カビ剤と防カビ加工製品の防カビ性能、安全性に関する評価方法、業界の管理基準についても説明する。</p>	<p>一般社団法人抗菌製品技術協議会 専務理事</p> <p>藤本 嘉明 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスソリューションセンター 開発本部 第一開発部 課長 柴 賢治 氏</p> <p>雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室 主幹 松野 一郎 氏</p>
14:50 ▼ 15:50	<p>◆『プラスチック添加剤の分析技術』</p> <p>プラスチック材料は、成型時や製品として使用する際に劣化を抑制するための安定剤や、材料物性の改善や本来持たない特性を付与する機能性付与剤等の添加剤が必要とされる。これら添加剤の分析目的は以下の2点に大別される。</p> <p>1. 自社品：プラスチックの性能確認や劣化解析等の品質管理 2. 他社品：市場調査や特許対策</p> <p>他社品の場合は例え同種の樹脂であっても加工方法、用途によってメーカー毎に添加処方異なるため網羅的な分析が必要となり、当然のことではあるが難易度は高くなる。</p> <p>本講演では、有機系添加剤を中心にプラスチック中添加剤の分析方法について事例を交えて紹介する。</p>	<p>株式会社三井化学分析センター 構造解析研究部 分析ユニット 主席研究員</p> <p>馬場園 和孝 氏</p> <p>コーディネーター</p> <p>㈱クラレ エパール事業部 グローバルマーケティンググループ 主管 村田 知規 氏</p> <p>㈱J-オイルミルズ 資材部長 日高 和弘 氏</p>
15:50▶16:10	◆休憩・講師への質問用紙回収	
16:10▶16:40	◆講師への質問会	講師+コーディネーター

講師のご紹介

香川 正氏

BASFジャパン株式会社 高性能製品統括本部
プラスチック添加剤 ダウンストリーム セールス

【ご経歴】

1978年 日本チバ・ガイギー株式会社
医薬事業部入社
1991年 同社 プラスチック添加剤部へ異動
2010年 吸収合併によりBASFジャパン(株)プラスチック
添加剤部門所属となり、現在に至る

堀井 建吾氏

住化カラー株式会社 開発本部 開発研究所
機能材グループマネージャー

【ご経歴】

1994年 住化カラー株式会社入社 主に生産技術の
業務に従事
2003年 同社 開発研究所(千葉)へ配属
2006年 同社 機能材グループへ配属
2011年 同社 開発本部 開発研究所へ配属 現在
に至る

藤本 嘉明氏

一般社団法人 抗菌製品技術協議会 専務理事

【ご経歴】

1994年 東亜合成株式会社 新製品開発部長とし
て無機抗菌剤の市場開発に従事
2004年 抗菌製品技術協議会 専務理事に就任
著書 「最新材料の性能・評価技術」(共著)機産業技術サー
ビスセンター発行

馬場園 和孝氏

株式会社三井化学分析センター
構造解析研究部 分析ユニット 主席研究員

【ご経歴】

2004年 鹿児島大学大学院理工学研究所 博士前期
課程修了
2004年 株式会社三井化学分析センター入社
クロマトグラフィー、質量分析を中心とし
た有機化合物の分析に従事

開催要領

日時:平成28年1月29日(金)

会場:「ソラシティカンファレンスセンター Room C」

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ

参加費:会員18,360円(消費税8%、テキスト代含む)

*同時に3名以上でお申込みの場合には

割引価格として1名15,120円

一般27,000円(消費税8%、テキスト代含む)

定員:100名

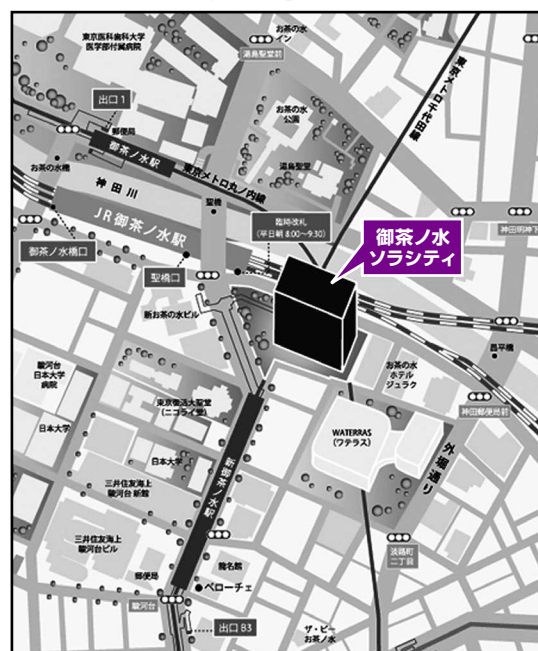
会場案内図

ソラシティカンファレンスセンター Room C

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ

最寄駅のご案内

- JR中央線・総武線「御茶ノ水」駅 聖橋口から徒歩1分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B2出口【直結】
- 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 出口1から徒歩4分
- 都営地下鉄新宿線「小川町」駅 B3出口から徒歩6分



お申し込み方法

■本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

協会HPからのお申込みも出来ます。

協会HP:<http://www.jpi.or.jp>

■申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。

■開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方が
ご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(当日、名刺をご提出いただきます。)

お問い合わせ並びにお申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係

担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970

e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第11回包装材料セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

第11回包装材料セミナー(1月29日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名					
所在地	(〒)				
電話			FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	
	氏名	所属役職		e-mail	